

1 妊娠・出産・子育て支援の充実

現状・課題

- 核家族化，晩産化，共働き家庭やひとり親家庭の増加，身近にサポートがない人の増加など，家族を取り巻く環境の変化により，妊娠や出産，子育てに対する不安や負担が増大しています。
- 産後うつなど，親と子のメンタルヘルスや健康課題等の早期発見と対応，疾病の予防が必要となっています。
- 子育てや教育に係る経済的な負担や子育てへの不安，仕事との両立の悩みなどが，子どもを持ちたい若い世代の希望を実現しにくい要因のひとつとなっています。
- 児童虐待やドメスティック・バイオレンス（DV）のほか，経済的困窮，社会的孤立など，子どもを取り巻く様々な要因が子どもの健やかな成長を困難にしています。支援を必要とする子どもや家庭，障害のある子どもに継続的に寄り添う支援が求められています。

施策 1 妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援



施策の方向

安心して子どもを産み育てることができる環境を整え，子ども一人ひとりの健全な育ちを実現するため，妊娠・出産の相談体制やサポートの充実，経済的支援など，妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援の強化・充実を図ります。

主な取組

- (1) 妊娠から子育てまでの総合支援
子育て世代包括支援センター「えがお」や子育て支援アプリなどを利用した総合的な相談体制の充実，乳幼児医療費の助成など
- (2) 妊娠・出産サポートの充実
妊産婦の健康診査，不妊治療の支援，産科医療機関の支援など安心して妊娠・出産に臨むことができる環境の整備など
- (3) 親と子の心とからだの健康づくり
乳幼児・妊産婦の健康診査や地域子育て支援拠点などの交流の場づくりなど

目指すべき姿

若い世代が安心して子どもを産み育て、未来を創る人材を育てるまち

社会全体で子どもと 子育て家庭を支える支援



施策の 方向

若い世代が安心して子どもを育てることができるよう、幼児教育・保育サービスの充実や子どもの居場所づくり、オンライン手続による利便性の向上、子育てと仕事の両立支援など、市民・地域・企業など、社会全体が子どもの健やかな育ちと子育て家庭を支える環境づくりに取り組みます。

主な 取組

(1) 様々な主体による子育て支援の充実

ファミリー・サポート・センターや放課後児童会、地域子育て支援拠点の充実、くれ子育てねっとやくれっこアプリなどウェブによる子育て情報の提供、手続のオンライン化、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に関する啓発など

(2) 幼児教育・保育の充実

保育サービスの充実や教育・保育人材の確保、義務教育とつなぐ幼児教育の推進など

(3) 子どもがのびのびと育つ居場所づくりの推進

子ども食堂や学習支援教室など、子どもの居場所づくりに取り組む団体への支援など

支援・配慮を必要とする子どもとその家庭への支援



施策の方向

子どもの将来が、その生まれ育った環境により左右されることがないように、社会的に自立するまで、一人ひとりが置かれた状況に応じた支援に取り組めます。

児童虐待の発生予防から自立支援まで、関係する行政機関や民間団体等との緊密な連携・協力を図り、迅速な対応や継続的な支援を行います。

障害のある子どもや外国籍の子どもの保育所や幼稚園・認定こども園等における受入体制の整備及び環境の整備、障害の程度や年齢などに応じた養育体制の充実に取り組めます。

ひとり親家庭の生活の安定と自立に向けた就業支援などの経済的支援を実施します。

主な取組

(1) 児童虐待防止対策の更なる強化

関係機関と協力した児童虐待の発生予防から自立支援までの一連の対策や啓発活動など

(2) 障害児施策の充実

障害を持つ子どもの教育・保育サービス等の受入体制の整備など

(3) ひとり親家庭等の支援の充実

婦人相談員による相談、母子父子自立支援員によるひとり親家庭等への就業支援など

指標

項目	現状		目標	
この地域で子育てしたいと思う親の割合	R元	92.4%	R7	95.0%
子育て支援に関する行政サービスに満足している人の割合	R元	22.2%	R6	25.0%

2

学校教育の充実

現状・課題

- 子どもたちがこれからの新しい時代を切りひらいていけるよう、様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決する力や、新たな価値を創造する力など、子どもたちの未来につながる資質・能力を伸ばす教育に取り組む必要があります。
- 障害のある子ども一人ひとりのニーズに対応した指導・支援を充実していく必要があります。
- ICT等の進歩や英語教育など時代に応じた学びを支える環境を整備することで、それらを社会で活用できる児童・生徒を育成する必要があります。
- 高等学校教育では、地域社会のニーズや生徒の興味・関心が多様化するなど、様々な課題が複雑化、高度化する先行き不透明な社会において、力強く生き抜き、社会に貢献する人材を育成する教育に取り組む必要があります。
- 安全・安心への関心が高まる中、学校施設の老朽化対策や設備の充実等の環境整備を進める必要があります。
- 家庭環境など様々な要因により支援を必要とする子どもたちを支えるため、一人ひとりの状況に応じたきめ細かい取組を行う必要があります。
- 子どもたちの尊厳と生命を守るため、いじめや暴力行為を防止する必要があります。
- 頻発化する自然災害に対する防災意識の向上が課題となっています。



施策の方向

小中一貫教育を基盤とし、幼児教育から義務教育、高等学校教育等につながる系統的な教育活動を重視するとともに、Society 5.0 時代における創造性を育み、一人ひとりに個別最適化された学びへのICTの積極的な活用や情報活用能力を高める学び、英語教育、豊かな心と体を育てる体験活動などを推進し、家庭や地域社会と連携しながら、自らが学び、育つことで子どもたちの生きる力を育む義務教育の充実を図ります。

障害のある子どもの社会的な自立や社会参加に向け、障害の種別、程度、発達段階などに応じた専門的な指導・支援の充実を図ります。

主な取組

(1) 小中一貫教育を基盤とした「つながり」を重視する教育の推進

小中一貫教育の推進、幼児教育との接続カリキュラムに基づく教育内容づくりの推進、地域や市内外の高等教育機関等の「人・もの・こと」を活用した教育の活性化など

(2) 特別支援教育の推進

指導員・指導補助員の派遣、専門家による教育相談など

(3) ICTを活用した教育の推進

学校ICT環境の充実、タブレットを活用した教育の推進、新型コロナウイルス感染症に対応したオンライン授業など

(4) 英語教育の推進

外国人講師や加配講師による英語指導、中学校教員が小学校に乗り入れての英語授業など

(5) 豊かな心と体を育てる体験活動の充実

ふるさと文化探訪などによる郷土を愛する心の育成、文化芸術体験やトップアスリートの派遣など



施策の方向

呉市立呉高等学校において、生徒個々の希望と適性に応じた学びを推進するとともに、地域課題を発見し、その解決に貢献しようとする意識を高めるための教育活動を広汎に展開します。こうした実践を通じて、持続可能な社会の担い手として、新たな価値を生み出す力を磨く、総合学科の特色を生かした高等学校教育の充実を図ります。

主な取組

- (1) 総合学科の特色を生かした教育の推進
多様な科目選択による学際的な学びの展開，ESD※・SDGsを基軸とした教育内容づくりの推進，ICT機器を活用したより探究的な学習の充実や個別最適化された学びの実現，情報活用能力の向上の推進など
- (2) 自立と社会貢献への意識を育てる教育の推進
部活動・学校行事の充実による自主性・自立性の育成，ボランティア活動への積極的参加による社会貢献の意識の醸成など

施策

3

安全・安心な教育環境の充実



施策の方向

学校施設の老朽化対策や改良を計画的に進めるとともに，登下校時の安全確保や就学支援，通学支援などに取り組むことにより，子どもたちが安全・安心に学ぶことができる教育環境の充実を図ります。

いじめや暴力行為，不登校などを防止するため，教育活動を通じて豊かな情操や道徳心を培うことや，早期発見・早期対応の体制の充実などの対策を総合的かつ効果的に推進します。

「自分の命は自分で守る」力を育成するために，防災教育を推進します。

主な取組

- (1) 安全・安心な環境整備と就学支援
学校施設の長寿命化等の安全・安心な教育環境づくり，登下校時の安全確保，経済的に困っている家庭への就学支援，遠距離等通学に対する支援，母国語通訳による支援など外国籍の子どもを受入体制の充実など
- (2) いじめなどの問題行動や不登校への取組
スクールカウンセラーの派遣や適応指導教室の運営など
- (3) 防災教育の推進
「呉市学校防災週間」における学校行事，「呉市防災教育のための手引き」を活用した授業など

指標						
項目	現状		目標			
全国学力・学習状況調査結果 全国平均値との差	R元	小 国語	5.2	R7	小 国語	6.0
		中 国語	2.2		中 国語	5.0
		小 算数	2.4		小 算数	5.0
		中 数学	2.2		中 数学	5.0
学校に行くのは楽しいと思う児童・生徒の割合	R元	小	88.3%	R7	小	90.0%
		中	85.1%		中	90.0%

※ ESD：イー・エス・ディー。Education for Sustainable Development（持続可能な開発のための教育）の略。持続可能な社会づくりの担い手を育む教育のこと